

横浜開港一五〇周年関連出版物紹介

横浜開港一五〇周年にあたり、横浜では開国博Y150の実施のほか、象の鼻パークなどの記念施設も整備され、華やかな賑わいをみせています。また同時に、開港一五〇周年を記念し、多くの関連出版物が刊行されています。

今回は、これら出版物のうち、市史資料室が資料提供・執筆に関わった横浜市ふるさと歴史財団編『横浜 歴史と文化』（有隣堂）・横浜市史資料室編『昭和の横浜』・横浜開港150周年記念図書刊行委員会編『横浜港物語 みなとびとの記』をご紹介します。

『横浜 歴史と文化』は古代から現代に至るまでの横浜の歴史を、八五〇点のカラー図版と解説を用いて紹介するものです。古代から現代まで、それぞれの時代を象徴する生活道具や街の様子を写した写真や絵葉書、仏像や書状・古文書・絵図などがカラー写真を用いて紹介され、当時の様相や文化を伝えています。市史資料室からは、昭和にあたる第六章の写真を主に提供し、空襲・占領期、戦後の市民生活についての解説を行っています。

『横浜 歴史と文化』は、横浜の通史として刊行され、古代から現代までの横浜を広く紹介していますが、市史資料室が刊行した写真集『昭和の横浜』は、横浜の昭和期に焦点をあて、関東大震災の復興から横浜博覧会までの時

代を3章に分けて紹介しています。

収録された写真は一、〇六一葉のほり、それぞれテーマごとに構成し、時代や場所を含めた解説を付し、一冊にまとめています。掲載写真は、市史資料室が所蔵する多くの写真から厳選したもので、今まで未公開であった写真も含まれています。

写真からは震災・空襲・占領を経験した都市横浜の成長過程や、博覧会・開港祭などの記念式典を通して人々の営みを見ることが出来ます。激動の時代を歩んだ横浜の街の移り変わりと、そこに生きた人々の生活の姿をこの写真集から感じ取っていただければと思います。

『横浜港物語 みなとびとの記』では、横浜の開港から昭和五〇年代までの港のあゆみが解説されているほか、現在の横浜港で港湾輸送に関わる人々や船舶などが紹介され、横浜港を身近に感じることが出来ます。市史資料室からは、「昭和二〇年の横浜港」として、空襲や占領下にある横浜の写真を提供したほか、主にアメリカ軍の進駐や接収に関する解説を行っています。

開港一五〇周年を迎えた今、古代からの歴史を振り返り、それぞれの時代を生きた人々の活動と横浜の軌跡をみることは、現代の横浜に暮らし、生きる私たちに新たな横浜の魅力を伝えてくれます。今回ご紹介しました三冊とも閲覧室でご覧いただけます。どうぞお手にとってご覧ください。（木許文子）

《市史資料室たより》

横浜開港150周年を記念し、横浜市史資料室は、このたび写真集『昭和の横浜』を出版しました。多くの所蔵写真から厳選し、今まで未公開であった写真も含まれています。

写真集『昭和の横浜』は、1冊2,000円で市民情報センター（市庁舎1階・関内駅寄り）、横浜市中央図書館1階ふれあいショップのげやま、横浜市歴史博物館・横浜開港資料館・横浜都市発展記念館の各ショップほかで販売中です。また、市史資料室の閲覧室では写真集の閲覧が可能です。ぜひ一度、お手にとってご覧ください。ただいま、写真パネル展示会「昭和の横浜」も開催中です。どうぞあわせてご利用ください。



〈写真集『昭和の横浜』〉

〈写真集『昭和の横浜』本文見本（縮小）〉



【写真パネル展示会「昭和の横浜」開催中】

横浜市史資料室は、このたび、写真集出版にあわせ、写真パネルによる展示会を開催しております。

会 期：2009（平成21）年7月7日（火）～9月6日（日）
休 館 日：7月21日（火）・8月17日（月）
開場時間：午前9時30分～午後5時
会 場：横浜市西区老松町1
横浜市中央図書館地下1階

◎入場無料
◎掲示写真 約60点 8月上旬、写真入替予定

◇ 休室日のご案内 ◇

8月17日（月）、9月24日（木）、
10月19日（月）、
11月24日（火）、12月21日（月）
12月29日（火）～1月3日（日）

【寄贈資料】

- 1 前川写真館 「五日会関係写真帖」1冊、前川 浄二様 「関東大震災関係写真帖」1冊、「横浜正金銀行内部写真」1枚
- 2 芝 幸夫様 「中村川」（昭和50年）他 写真フィルム4本
- 3 近藤 弘様 みなと祭（昭和37年）関係写真12点
- 4 川上 桂司様 市内風景 山手町内会 写真81枚
- 5 井元 利明様 マッカーサー関係 写真5枚
- 6 長谷部信彦様 開港百年祭他 写真5枚
- 7 堂野 末雄様 昭和30年代新聞スクラップ5点

◇ 第4号の訂正 ◇

『市史通信』第4号 12ページ
《市史資料室たより》【寄贈資料】
誤：⑥田中晴美様→正：⑥伊東政子様